

たかはま夢・未来塾
ロボットのりるづ

ロボカップ2008蘇州大会で大活躍!!



**プライマリ部門
2年連続世界一
セカンドリ部門
ベスト8
おめでとうございます**

選手紹介

チーム高浜 Jr.
加美聡哲くん (高浜中2年)
杉浦啓太くん (高浜中2年)
安達良くん (南中3年)
杉浦光くん (南中3年)

昨年は安達良くん、杉浦光くんが「チーム高浜」を結成し、加美聡哲くん、杉浦啓太くんのサポートのもと、米国アトランタで開催されたロボカップに出場し、世界優勝(プライマリ部門)を経験しています。

各国を代表するチームの技術に刺激を受けた選手らは、大会2連覇を目標に準備を進め、たかはま夢・未来塾を拠点に休日夜上で夜遅くまでロボットの製作・調整に励みました。

その結果、プライマリ部門に出場した「チーム高浜 Jr.」は、見事世界一の栄冠を勝ち取り、

昨年に続き、たかはま夢・未来塾の代表として2連覇を達成。セカンドリ部門の「チーム高浜」は、大学生や高校生を相手になりましたが、見事ベスト8の結果を収めました。

世界を舞台に大活躍した高浜の子どもたちは、すばらしい成績を残しただけでなく、多くのことを学んできたことでしょう。



自慢の機体調整中

選手から一言

チーム高浜 Jr.
加美 聡哲



世界大会に行くと、いろいろなことを学びました。

一つはロボットの技術です。キットを使ったロボットもありましたが、画面を使ってロボット

の調整をしているチームや他の競技でカメラを使っているチームなど、「まねしてみたい」と思う技術を持っているチームがたくさんありました。プログラムの面でもいろいろな工夫をしているチームがあり、「やっぱり世界の技術はすごいな」と思いました。

チーム高浜 Jr.
杉浦 啓太



世界大会は、とてもいい経験になりました。

たとえば世界の人びとの交流です。やはり今の世界共通語は英語でした。英語で会話することができ、とても楽しかったです。メールアドレスをお互いに交換して、今ではメール交換もしています。日本では外国人の人と会話をする機会がありませんでした。また、外国の人からいろいろな技術を教えてもらい、教

えてもらった技術を次のロボットに活かしていきたいと思えます。

チーム高浜
杉浦 光



今回の大会は、試合の勝ち負けだけでは無く世界中の人々との交流ができ、良い大会だったと思います。

今年も、去年の教訓を活かして英語を勉強した? 成果もあって世界の人びとの交流もスムーズにできました。

例えば、サウジアラビアのチームとユニホームを交換したり、イギリスのチームと一緒に昼ご飯を食べに行ったりしました。

去年はなかなか相手が喋って話さなかった人が多かった。去年の大会にいたような人たちが、去年の大会で会った人が多かった。去年の大会で会ったのは、スペインのチームで、口



サウジアラビアチームとユニホーム交換

チーム高浜
安達 良



今回の世界大会では、去年の世界大会と同じ目標を持ち、国際交流に積極的に取り組むことにしました。もちろん世界大会なので、試合も楽しみましたが、試合の終りには挨拶をして礼儀をつくし、記念撮影の後で少しお話をしました。

今年の5月に日本で行われた全国大会に特別に参加した中国のチームが来ていて友達になりました。世界大会でも来ていたので一緒に昼ごはんを食べに行ったりチームを応援したりしま



スペインチームと情報交換

ロボカップとは RoboCup



ロボカップは、ロボット工学と人工知能の融合、発展のために自律移動ロボットによるサッカーを題材として日本の研究者らによって提唱されました。現在では、サッカーだけでなく、大規模災害へのロボットの応用としてレスキュー、次世代の技術の担い手を育てるジュニアなどが組織されています。

たかはま夢・未来塾のロボットチームは、7月15日から19日まで、中国蘇州で開催された「ロボカップ2008」のジュニア・サッカーチャレンジに出場しました。

競技内容

1チーム2台の自律型ロボットを製作し、サッカーを行います。

出場選手の年齢により、プライマリ(14歳以下)、セカンドリ(19歳以下)などの部門に分かれて競技をします。

世界大会では、各国混成3チームで1つのグループを作り、グループ対戦により、順位が決定されます。



たかはま夢・未来塾とは...

高浜で育つ子どもたちが、豊かな経験を積みながら、広い世界で活躍できるよう、市内在住の小学4年生から中学3年生を対象に、さまざまなプログラムを提供しています。

*現在、スタッフ募集中です。詳しくは13ページをご覧ください。